

# 社会保障協定について

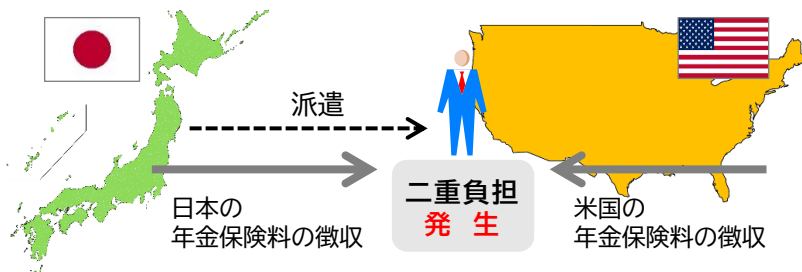
社会保障協定の目的： 国際間の人的移動の活発化に伴う年金等に係る課題の解決

年金については、年金保険料の二重負担、年金受給資格の確保が課題となっている。

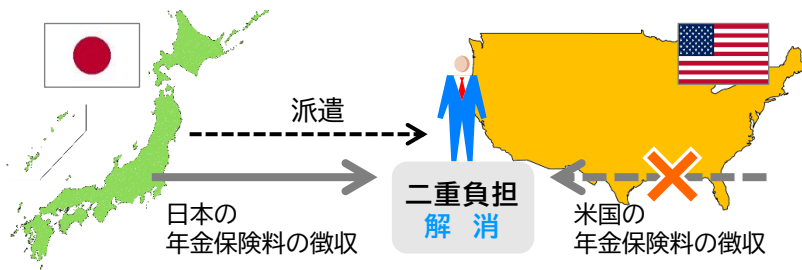
## ① 保険料二重負担の課題 ▶ 適用法令の調整により解決

### 事例 日本企業から在米企業に派遣される場合

**協定発効前** 日本の年金保険料と米国の年金保険料の両方を払うことが必要。



**協定発効後** 短期の派遣(5年以内)の場合は、派遣元国の日本制度にのみ加入し、米国制度の加入義務は免除。(原則は、就労国の米国制度にのみ加入し、日本制度の加入義務は免除)



## ② 年金受給資格確保の課題 ▶ 期間の通算により解決

### 事例 日本年金と米国年金の両方に加入期間がある場合

**協定発効前** それぞれの加入期間のみで最低加入期間を満たすことが必要。



**協定発効後** それぞれの加入期間を足し合わせて加入期間を算定できる。

